

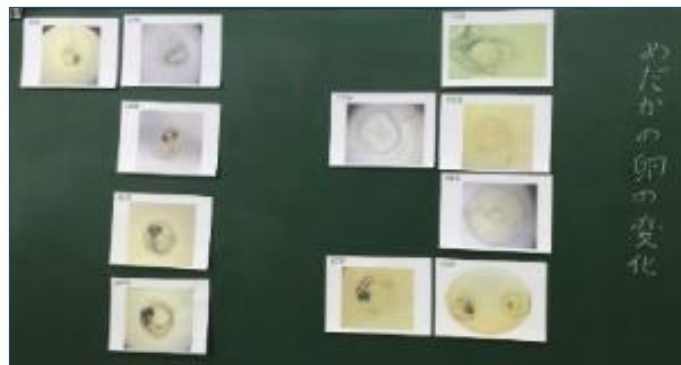
5月の連休明けから、メダカの成長についての学習が始まりました。理科室に設けられたメダカコーナーで登校後に、メダカのたまごの成長を観察しましたね。テレビとけんび鏡をつなげ、心ぞうが動く様子や血が流れる様子を見た時は驚きましたね。**かなさん**は、「ときどき動いてすごドキドキした」、**みれあさん**は「タマゴのなかで心ぞうや血液があった。血液が早く流れていた」、**りくさん**は「まわりに毛がついていることにびっくりした」、**じゅりさん**は「目や心ぞうが見えてきて、そこからどうなるのか、わくわくして、心に残っている」とふり返りました。**なごみさん**は「何日かたって、やっと血管や心ぞうが見えてきたことが心に残りました」、**るなさん**は「心ぞうや目が出てきたところが印象強かった」と、毎日成長する様子に関心をもったようです。

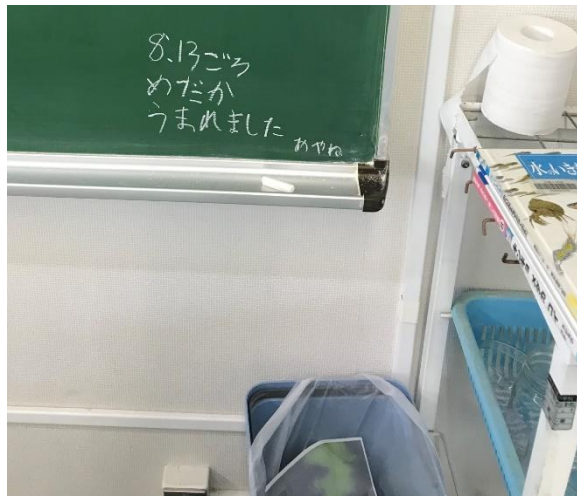


・卵が途中で白くなってしまい、無精卵(受精しなかった卵)だと分かったり、生まれるしゅん間のしよげきにたえられず生まれてこれなかったり、メダカが生まれるまでには乗り越えなければならないハードルがたくさんありましたね。だからこそ、**あまねさん**は「明日は、あさっては生まれるかと、きたいした」、**りのさん**は「あとちょっとで生まれる。いつ生まれる?」、**半田はるかさん**は「卵が生まれるしゅんかんをみてみたいな」、**めぐるさん**は「もう少しで生まれそうで、『がんばれ』という気持ち」になったと、たんじょうを心待ちにしていました。



・かんさつから10日たっても卵はかえりませんでした。もしかしたらこのままメダカのたんじょうは見る事ができないのかと心配しましたが...





•ある朝、黒板にうれしいお知らせが書かれていました。さっそく話を聞いてみると**あやねさん**と**あおいさん**が卵からメダカがとび出るしゅんかんを見たとのことでした。毎朝熱心に観察していたことに加え、タイミングが重なりましたね。**りょうがさん**が「卵から出るしゅん間を見てみたい」と書いていましたが、同じような思いをもっていたお友だちは他にもたくさんいました。これからも理科室前にメダカの卵と稚魚(ちぎょ)を置きますので観察してくださいね。

•授業でのたまごの観察の様子です。実際にけんび鏡を使ってみて、**かいんさん**は「メダカ以上にけんび鏡にも興味をもった」と言うほどでした。**八巻ゆづきさん**は「けんび鏡の前に立たない」ことに気を付け、**きらさん**は「ほかに観察する人のことも考えて」観察しました。**こうへいさん**は「メダカを皿ごと落とさないこと」を、**厚芝はるかさん**は「メダカが入った容器が動いてしまうから、ピントを合わせる時、しんちょうにあわせる」ことに注意しました。

•生まれたてのメダカの子どもはあまり動かなかったので、けんび鏡を接続したテレビでじっくり観察することができましたね。**ななみさん**は「朝登校をして、理科室にメダカの子どもがたくさんいてよく観察した」とふり返りました。



・以下はテスト後のふり返しプリントです。

・ **貝畑めいさんとひなのさん**は1ミリの小さな卵の中で成長していく様子におどろきました。

貝畑めいさん

メダカのタマゴは、1mmという
ことにとってもびっくりして、それが
どんどんせいちょうしていき、大き
くなるのがとてもすごいと
思いました。

ひなのさん

目や血管心臓
などがでてきました。そのときもうとんとん
成長しているのだと思いました。



・ **はるさん**と**つむぐさん**、**ありすさん**、**だいきさん**は今回の学習を通してメダカに興味をもち、身近に感じたり、もっと知りたい、詳しく調べたいと考えるようになりました。

はるさん

田ぼが川でよどみをおる時め
たからてこういうところにい
るのがよと興味があまりました。

つむぐさん

メダカのかい方やたまごのうみ
方に興味を持ったから、家でも
パソコンなどで調べてみよう
と思いました。

これからも、生物のことをたご
んして、ものしりになりたいと
思った。

ありすさん

さいしよぼうわーメダカがー。きむわるいな。とか、
すこしにがてたらたけご勉強をかさねると、「メ
ダカは、一つの命で、いろいろなことをかんがえているんだ
な。」とかんじました。とくに、きょうみをもたことは、
「たまご、てこんなに小さいんだなー。すごいな。」と、
かんどうしました。本当にさいしよぼうわーこれくらいで、
とてもおどろきでいっぱいでした。

だいきさん

メダカのことを勉強する前は、
きょうみがなかったけど、勉強を
したあとはたまごのことをしてき
ょうみをもったところが変わった。も
っとメダカのことをしりたいし、勉強
もしたい。メダカのことをめっちゃ
ちゃしてみんなにおしえたい。

戸栗まゆさんとひかりさん、たいきさん、あやねさんは、学習後にもっと知りたいこと、調べたいことを書きました。初めて知ったことや当たり前になっていたことの中に「なぜ」を見つけられることはとても大切なことですので、これからもその姿勢をもち続けてほしいと思います。

ひかりさん

子どものメダカのおなかには2~3日分の養分がある、でもなぜ2~3日なのだろう？

メダカは、かんは赤色なのかな？養分の入ったふくろはわれるのだろうか？

養分の入ったふくろはどのようにして小さくなるのだろうか。

たまごのところにオスかメスかをみわけることはできるのだろうか？

たいきさん

インゲン前の学習とあわせるとどちらも養分がある物を持っていて生物はどのようにして成長などに養分が必要なのかを疑問に思った。

とぐりまゆさん

めだかのように成長して親になり、生命をつないでいくものは、他にどんなものがあるのか知りたい。

あやねさん

小メダカは小さいのにどうしてあんなに速くおよげるのか？小メダカはどのようにして、いれもののすみに行くのだろうか？なぜメダカのせびねしりびねにはさくてみがあるのか、形があるのか？



ののあさんは「メダカはこれからどうなるのか？」と疑問を書きましたが、するどい視点だと思います。昔は歌で「めだかの学校は川の中」と歌われるくらい、メダカは身近な存在でした。しかし現在、メダカは生活できる場所はどんどん減ってきていて、メダカは絶滅危惧種(ぜつめつきぐしゅ)に指定されています。原因は何かな？ぜひ調べてみてください。メダカが身近な場所に見られることは、実はきちょうなことなのかもしれません。メダカはこれからどうなるのか。無関心でいられても、無関係ではられない問題ですね。

ののあさん

1人かほとつづくのか？きになることかあと1つありメダカはこれからどうなるのか？

